

静岡県・熱海 伊豆山 蓬萊洋館 ヴィラ・デル・ソル



優美な風格ある建築空間と海のオーベルジュ

紺碧に広がる相模湾の海原を眼前に佇む「蓬萊洋館 ヴィラ・デル・ソル(太陽の館)」。レストランとしての知名度に加え、全室オーシャンビューの客室は7室、まさに「海のオーベルジュ」と称するに相応しいホテルです。建物は、紀州徳川家十五代頼倫公が明治32年に東京・麻布に開いた日本初の西洋式図書館「南葵文庫」を移築し、往時の雰囲気をもそのままに再現しつつ、客室を増築してオーベルジュへと進化させてまいりました。

【料理】

繊細な磯の香りと濃厚な味わいをシンプルに

メインダイニング「レストラン南葵文庫」では、素材が持つ味そのものを引き出し、惹きたて料理するという調理法で、海の幸を贅沢に使ったフランス料理をご用意しています。相模湾の漁港に揚がった魚介を見てメニューに仕上げ、シェフ自ら契約農家に赴き、朝摘みの地産野菜を食材に、「その日の海のフレンチ」をお楽しみいただけます。



南仏を思わせる、海のオーベルジュのテラスからは、初島を眺め、大島を望み、きらめく陽光に包まれます。

【客室】

7室すべてがオーシャンビュー、 シンプルながら贅沢な空間

客室からは、邸内の海沿いに松が枝を伸ばし、地平線へと続く相模湾の大海原が広がる。プライベート感のある広々とした室内は、柔らかな白で統一され、すっきりとモダンな空間。心地よく簡素化しつつも、オーシャンビューと相まって、滞在感は格別です。洗練された内装やインテリアは部屋タイプによって異なり、バング&オルフセンのオーディオセットを完備しています。右上写真は、ル・コルビジエ製調度品のあるセミスイート(70㎡)です。

海に向かった大きなガラス窓から、昇りゆく朝日や朝焼けを眺め、海原に静かな輝きをもたらす月光に胸が躍ります。

ある日の朝食: サラダは全て契約農家からの朝採り野菜を。卵料理(ゆで卵、目玉焼き、オムレツ、ポーチドエッグからチョイス)ベーコンorハム添え、自家製パン&ジャム2種(トースト、ブリオッシュ、パンズなど)、季節のフルーツ、ヨーグルト・マンゴー・パッションフルーツを提供します。



【建築】

由緒正しきサロンルーム

暖炉が据えられたサロンの設えには、由緒ある本物だけがもつ気品が漂います。絵画、家具調度は細部までアンティークで統一されたこだわりの空間。ゆったりと優雅なティータイムをお楽しみください。



『レストラン南葵文庫』

ホテル2階にあるダイニング。真っ白いクロスに似合う器は海の陽光に映えるよう設えています。優しく日差しが透けるカーテン越しに、青く光り輝く海を眺めながら食事を楽しめます。



【スパ】

オーシャンビュートリートメント

オーシャンビューの部屋でエサレン式のオイルトリートメントを、「波が寄せるような」と評される独特なストロークが、心身に深いリラクゼーションをもたらし、緊張やストレスの緩和へと導いていきます。メニュー：フェイシャル&ボディ75分 18,900円、ボディ60分 15,750円など



優美な風格たたえた、登録有形文化財の建物

紀州徳川家十五代頼倫(よりみち)公が開設した、日本初の西洋式図書館(南葵文庫)として都内、麻布にあった建物。その後、大磯に移築され、1979年から現在の地、熱海への移築と修繕が進められました。往時の雰囲気そのままにと8年の歳月を費やしてオープンしました。2008年に登録有形文化財に指定されました。

【温泉】

本館の老舗旅館「蓬莱」の開放的な大浴場「走り湯」と隈研吾氏デザインの「古々比の瀧」は宿泊者限定でご入浴できます。日本三大古泉の1つとして、伊豆山神社の神湯として信仰されている源泉掛け流しの温泉です。

泉質：硫酸塩泉 一般的適応症。適応症：やけど・切り傷。



【DATA】

【蓬莱洋館 ヴィラ・デル・ソル】 創業1987年

住所：〒413-0002 静岡県熱海市伊豆山759 0557-80-2020 URL: www.izusan-horai.com/hotel

交通アクセス：JR熱海駅より車で約5分、熱海ビーチライン沿い

1部屋2名利用 1泊2食付き1名様 25,000円(税・サ込み)～客室数：全7室(ツイン4室、セミスイート2室、スイート1室)

本館「蓬莱」の温泉「走り湯」、「古々比の瀧」もご宿泊とともにお楽しみいただけます。

チェックイン14時～チェックアウト11時 駐車場 10台 付帯施設：サロン、バー

フランス料理：ランチ 6,500円、10,000円 / ディナー 10,000円、15,000円(税・サ別) 要予約